

2級情報部門問題集訂正内容 (奥付：平成28年3月16日初版 をご利用の方は、訂正内容をご確認ください。)

正誤および修正

頁	場所	初版	重版時修正	訂正公開日
37	下から3行目	出力危機	出力機器	H29. 4. 28
41	各所	nS	ns	
117	補足説明	ターンアラウンドタイム	ターンアラウンドタイム	
123	頁中程以降	H (S)、H (X)	H (P)	
127	既出問題 1	…シンδροームは、(100) になる。	…シンδροームは、(011) になる。	
139	表	番号1に網掛け	番号1は網掛けせず、番号6に網掛け。	

2級制御部門問題集訂正内容 (奥付：平成28年3月16日初版 第2刷以前 をご利用の方は、訂正内容をご確認ください。)

正誤および修正

頁	場所	初版、初版第2刷	重版時修正	訂正公開日
15	問題	$(n - \frac{1}{2})\Delta \leq x < (n - \frac{1}{2})\Delta$	$(n - \frac{1}{2})\Delta \leq x < (n + \frac{1}{2})\Delta$	H29. 4. 28
iii	目次	付録ページ表記 (1)【2重積分型A-D変換機】……122	付録ページ表記 (1)【2重積分型A-D変換機】……125 以降、すべて3ページずれがあります。	H29. 7. 3

3級問題集訂正内容

訂正日 H29. 4. 28 : (奥付：平成28年3月16日初版 をご利用の方は、訂正内容をご確認ください。)

訂正日 H29. 7. 3 : (奥付：平成29年5月1日改訂版 第2刷以前 をご利用の方は、訂正内容をご確認ください。)

正誤および修正

頁	場所	初版	重版時修正	訂正公開日
6	要点	・交流のベクトル表示の意味とベクトル図…	・交流のベクトル表示の意味とベクトル図…	H29. 4. 28
7	頁下部	Vの大きさ $V = \sqrt{V_R^2 + V_C^2} = \sqrt{12^2 + 9^2} = 30[V]$	Vの大きさ $V = \sqrt{V_R^2 + V_C^2} = \sqrt{18^2 + 24^2} = 30[V]$	
8	選択欄	① e=100√2sin…	① e=141sin…	
11	選択欄	⑥ 選択肢なし	⑥ 直流増幅作用	
12他	各所	hfe	h _{FE}	
17他	各所	mS、nS	ms、ns	
25他	各所	V _i 、V _f	V _i 、V _f	
26他	各所	図1、図2、表1、表2	特に必要ない数字や表記は、「図」のように簡略、もしくは削除した。	
30	解説	②は、2進数を半導体回路で…	②は、10進数を半導体回路で…	
33	既出問題 3	式2行目 $= (1110)_2 + \boxed{2} - (10000)_2$	式2行目 $= (1110)_2 + (\boxed{2}) - (10000)_2$	
33	解説	$\begin{array}{r} 10000 \\ - 0011 \\ \hline 1101 \end{array}$	$\begin{array}{r} 10000 \\ - 0011 \\ \hline 1101 \end{array}$	
34	解説	ASCII(American Standards…)	ASCII(American Standard…)	H29. 4. 28
34	解説	JIS(Japanese Industrial Standard)	JIS(Japanese Industrial Standards)	

41	7行目	$A+(A \cdot B)=A$	$A+A \cdot B=A$	
48	要点	・マルチプレサ、デマルチプレサ	・マルチプレクサ、デマルチプレクサ	
54	解説	T・F F (trigger FF)	T・F F (Toggle FF)	
62	既出問題 1	CPI(cycles per instructon)	CPI(cycles per instruction)	
68	クイズ⑤	0.02 μ S、50KHz	0.02 μ s、50kHz	
68	答え	④ 誤	④ 正	
69	選択欄	① …データは記憶され、アクセスタイムが高速なのが特徴である	① …データを記憶し、アクセスタイムが短いという特徴を持つ	H 2 9 . 4 . 2 8
69	選択欄	⑤ …利用される。	⑤ …利用されることが多い。	
70	解説 1 行目	EEPROM(Electrical Erasable…)	EEPROM(Electrically Erasable…)	
85	選択欄	⑥ 選択肢なし	⑥ Ruby	
86	解説追加		Ruby は、個人が開発したオブジェクト指向スクリプト言語でフリーソフトウェアです。	
91	図	図1 命令の実行順序	図2 命令の実行順序	
109	1 行目	契約を結ぶ必要がある。	契約を結ぶのが一般的です。	
120	図3	クラスA クラス識別用固定値= 1	クラスA クラス識別用固定値= 0	H 2 9 . 7 . 3
117	TCP/IP の プロトコル	FTP, TELNET…	HTTP, FTP, TELNET…	H 2 9 . 4 . 2 8
140	1 行目	標本化(Samplihg)	標本化(Sampling)	
141	図	符号化の原理の図記号 図 (a) 図 (b)	符号化の原理の図記号 図 (c) 図 (d)	

4 級問題集訂正内容 (奥付：平成 28 年 3 月 16 日初版 第 2 刷以前 をご利用の方は、訂正内容をご確認ください。)

正誤および修正

頁	場所	初版、初版第 2 刷	重版時修正	訂正公開日
18	解説	<p>～エミッタ電流はほとんどがコレクタ電流ですから、</p> $I_E = \alpha I_C$ <p>と表わしたときの右辺の係数 α は通常 0.9～0.995 程度の値となります。</p> <p>この式を上式の式に代入して問題の I_C/I_B を求めると</p> $\frac{I_C}{I_B} = \frac{\alpha}{1-\alpha}$ <p>となりますが、この式の右辺を電流増幅率と呼んで h_{FE} で表します。</p> <p>α の値を 0.9～0.995 とすれば、h_{FE} の値は 10～200 になります。</p>	<p>～エミッタ電流はほとんどがコレクタ電流になります。</p> $I_C = \alpha I_E$ <p>と表わしたときの右辺の係数 α (ベース接地電流増幅率) は通常 0.9～0.995 程度の値です。</p> <p>この式を上式の式に代入して問題の I_C/I_B を求めると</p> $\frac{I_C}{I_B} = \frac{\alpha}{1-\alpha}$ <p>となりますが、この式の右辺を(エミッタ接地)電流増幅率と呼んで h_{FE} で表します。</p> <p>α の値を 0.9～0.995 とすれば、h_{FE} のおよその値は 10～200 になります。</p>	H 2 9 . 6 . 2 3
iii	目次	付録ページ表記 (1) 【ダイオードによる論理回路】 …… 1 2 5	付録ページ表記 (1) 【ダイオードによる論理回路】 …… 1 2 7 以降、すべて 2 ページずれがあります。	H 2 9 . 7 . 3